

サポセンだより 第50号

発行：佐倉市市民公益活動サポートセンター指定管理者 社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

佐倉市市民公益活動サポートセンターは

佐倉市では、市民又は市民団体等が主体となって営利を目的とせず、継続的、自発的に行なう社会貢献活動を「市民公益活動」と定義しています。

社会が成熟化し、地方分権が進展する中で、多様化した価値観による市民ニーズに対応していくため、市民や市民団体等による社会貢献活動に対し、大きな期待が寄せられています。

サポートセンターでは、これから活動を始めようと思っている方や既に活動している団体のために、各種講座や交流会等を開催しております。

また、施設での印刷やコピー、パソコンの利用、助成金や団体情報の発信等、施設開設以来、利用者数も増えております。このサポートセンターを通じて、佐倉市の市民活動が活発化し、市民活動の輪が今後もますます広がっていくことを期待しております。

平成28年度 主な事業



分野別交流会「健康的に楽しくめぐる城下町佐倉の七福神」【5月23日】



チラシづくり講座【11月19日】

ボランティア養成講座【9月3日】

司会進行実践講座【8月28日】

平成15年7月に市の直営の施設としてオープンしたサポートセンターは、平成21年4月より社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会が指定管理者として運営して参りましたが、平成29年4月より再度市直営の施設となります。今までサポートセンターをご利用の皆様には、ひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。今後とも皆さまの活動に役立つ施設として、皆様の活動が更に発展することを願い、支援サービスの充実を進めて参ります。市民活動をされている皆さまにとってますます活躍の年となりますことを祈念いたします。

お知らせ：平成29年4月より開所時間が午前9時からになります。



ハーモニカがつなく 人との出会いと生きがい

【設 立】 平成 26 年 1 月 7 日

人は自らの残された人生を「これだ！」と心に決め、始めたボランティア・・・それが、体を壊して不可能になったとき、どうするのでしょうか？そんな人間が3人、腰が痛くともハーモニカなら吹けるけど・・・！とハーモニカを吹ける人に声をかけみよう！・・・そうして次々に集まり現在は 20 名になりました。

ただ、ハーモニカを吹くだけで終わりでは物足りないね。ハーモニカが上手になったら施設訪問して喜んでいただくというのはどうでしょう？このような話し合いから目的ができ、会則が作られ譜面が必要、譜面台も必要だね。練習会場はどうする？サポートセンターに相談してみたら？場所が決まり、名簿ができ、連絡網が作られサポートセンターの助言や援助をいただいて、ここまで歩いてきました。

【活動内容】

今年の1月で4年目に入りました。平成28年度は高齢者施設だけでなく、保育園や小学校からも招かれ、12か所訪問しました。

人は誰かのためになりたい。喜んでもらいたい。と思えるのが人間です。施設にいらっしゃる方々は、非日常的なことを大変喜び心待ちしています。涙を流して下さった方、手を握り「また絶対来てね！！」という高齢者の方に感動を与えたり、喜びをもっといただけるようになった今、これからも心待ちしていただく方々のもとに私たちは伺う予定です。 (西永 記)



ハーモニカを吹いて楽しみたいという方、入会はいつでも自由です！お待ちしております！



施設訪問で利用者の方も大きな口を開けて一緒に歌ってくれる姿を見て、元気をもらいます。



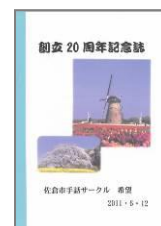
「出前保育」では、ハーモニカの演奏だけでなく、ことば遊びなども取り入れ楽しいひとときを過ごしました。

問合せ先	代表者	西永 禮子	
	連絡先	佐倉市弥勒町70-3	
	電話番号	043-485-3591	E-mail

活動をしています

のぞみ
手話サークル「希望」

手話で つながる 心の輪



6年前に発行した
創立20周年記念誌

【活動目的】

手話サークル「希望」は、会員相互の親睦を深め、手話を通して聴覚障害者との交流や福祉に寄与すると共に、ボランティア活動を行う事を目的に、平成4年4月に設立されました。現在会員 49 名。

【活動内容】

毎週木曜日の午前 10 時から 12 時まで定例会を行っており、ろう者との交流を軸に手話学習をしています。またボランティア活動として、盲ろう者との傾聴、ろう重複障害者施設をつくる会への協力、市ボランティアセンター行事参加、街頭募金参加など幅広く行っています。一方で春・秋のハイキング、ボウリング等の軽スポーツ、新年会、納涼会など盛りだくさんのリクリエーションで親睦を深めています。年間でサークルへの参加人数が延べ約 1,400 名有ります。ろう者協会、手話通訳研究会、中途失聴者協会、言葉を文字で伝える要約筆記サークル「あうん」と連携して聴覚障害者の情報保障に務めています。



目を輝かせ笑顔いっぱいの学習風景

【活動に参加して】

1月26日の定例会に参加させていただきました。“お店屋さんゲーム”と題し、店員と客になりきって手話で買い物をするという実践的な内容でありながら、常に笑いの絶えない雰囲気、分からないことは互いに教え合い、皆さん楽しそうに学んでおられました。



「そんなこといわれても…どう答えよう…」

「会員のうち、聴覚に障がいのある方はまだ全体の 10 分の 1 程度にとどまっていますが、閉じこもりがちな聴覚障害者の方にも是非参加してほしい」と副会長の小串さんは呼びかけます。聴覚障害の方はハンディキャップが目に見えないため、周囲の理解を得られず日常生活で不自由をすることも。その苦勞から孤立を選んでしまう方もいるようですが、ここではいつでも迎え入れる準備が整っていて、仲間が増えることを待っています。

毎週行われる定例会(学習会)には、30~40 名程の参加があり、この日も「見学者」の名札を付けた非会員(一般)の方が参加していました。耳の聞こえる方も聞こえない方も、お気軽に参加してみたいはいかがでしょうか。

場所は主に西部地域福祉センター(変更の場合有り)ご来場の際は下記までお問い合わせください。

ご存じですか?聴覚障害者標識マーク

問合せ先	代表者	岩谷 秀雄		
	連絡先	佐倉市海隣寺町 87 番地 (佐倉市ボランティアセンター)		
	電話番号	043-484-6198	E-mail	vc@sakurashakyo.or.jp

平成28年度 下半期事業報告

市民公益活動団体のための相談会

助成金獲得への実践講座

日時：平成29年2月19日(日)
13:30~16:00
場所：ワークプラザ2階会議室
参加者：6団体7名参加

団体活動の中で、事業をする場合資金が必要となります。助成金はそのために取得可能な財源のひとつです。助成金は欲しいけれど、どのように探せばよいのか、申請書類や報告書作成が面倒だ等でためらっている団体もあると思います。今回は「獲得への実践講座」ということで、獲得事例や現在募集している助成金情報を提供し団体活動の一助になったと思います。

講師に千葉市民活動支援センターの出納いずみ氏をお招きしました。

【参加者の声】

- 申請に必要な要点が良く分かった。
- 今日の講座を活かして29年度か活動助成Aに申し込んでみたい。
- 参加してみてはじめての一步が踏み出せた気がします。
- 講師のアドバイス（助成申請先が知りたいこと）は大変参考になった。
- 実際に申請書の書き方を実践することができてとても参考になった講座でした。



少人数のため一人ひとりに添削をしてもらえた内容の濃い講座でした

市民公益活動団体ポスター展

佐倉市内で市民活動をしている団体が作成したポスターを、昨年11月27日に開催した「ボランティア・市民活動フェスタ2016in佐倉」をかわきりにイオン臼井店、2月12日に開催されたまちづくりフォーラムの会場、JR佐倉駅まちづくり市民ギャラリー、西志津ふれあいセンターへと市内を巡り、団体紹介の一環としてPRしてきました。

イオン臼井店3階エリア



JR佐倉駅構内
まちづくり市民ギャラリー

ポスター展同時開催

出会いフォーラムⅡ

平成29年3月4日(土) 14:00~16:00
西志津ふれあいセンター2階ギャラリー

全体交流会Ⅱ

～市民活動について～

平成29年3月11日(土) 13:30~16:00
ワークプラザ 2階 会議室

佐倉市市民公益活動サポートセンター指定管理者 社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

佐倉市市民公益活動サポートセンター

〒285-0025 千葉県佐倉市鐺木町198番地2 レインボープラザ佐倉内 電話・FAX:043-484-6686

E-mail: saposen@sakurashakyo.or.jp 情報サイト URL: http://www.genki365.com/sakura/

サポセン URL: http://www.saposen.shiteikanri-sakura.jp/

利用時間 火曜日～金曜日 午前9:30～午後7:00 休所日 毎月第2・第4月曜日・祝日
土・日・月曜日 午前9:30～午後5:30 年末年始(12月28日～1月4日)